

瀬戸内タウンミーティング（長浜地区）

平成 23 年 11 月 1 日（火）19 時～21 時

牛窓町公民館長浜分館 講座室 A

参加者：男性 17 人、女性 4 人、計 21 人

行政報告に対する意見と市長の回答

- ・ T P P が導入された場合、地元の農漁業はたちうちできない。従来からの生産と販売だけでなく、高付加価値化が必要なのかと思う。

（市長）政府としては T P P に参加する意向だと思う。参加した際にどうやって生き残るか、が問題である。G A T T ウルグアイラウンドの時のように補助金等がつくのではとみている。対応できるよう準備を進めるよう指示している。11 月 3 日にせとうちブランドの発表会を行う。ブランドコンセプトは「Setouchi Kirei（セトウチキレイ）」。今回は美容効果のあるレモンを使った商品開発を行っている。今後の展開としてはオリーブや、風景なども「きれい」のコンセプトに合致するので活かしていきたい。

- ・ デマンド交通について、飲み屋さんや焼肉に行くといったときでも利用できるか。

（市長）今回の実証運行では 16 時までの運行となっている。昼ごはんの利用は可能。

- ・ 車両が 2 台と聞いたが、同時に複数の予約が入った場合、大丈夫か。

（市長）例えば、どうしてもこの時間に行かなくてはならない、という人と午前中に着ければよい、という人がいる場合、うまく調整ができる。また、実際やってみないとわからない部分もあるので、利用して、意見をいただきたい。

- ・ 錦海湾を「自然復活」をキーワードに、海に戻すというのはどうか。韓国で堤防を切って海に戻し、観光客が集まっているところがある。また潮汐力を利用した発電などはどうか。

（市長）海に戻す、という案もある。どのような影響が出るか、という点も含めて議論したい。

・メガソーラーは雇用を生まない。太陽光パネルの工場をあわせて誘致すべき。
(市長)確かにメガソーラーだけでは雇用を生みにくい。パネル工場となると、1000ha 程度の需要がないと難しいと聞いた。メガソーラーについても多くの提案がある、という状況で、国の電力買取制度や送電線をどうするか、など考える要素が多い状況である。

・災害で牛窓では避難勧告が出た。長浜ではどこへ避難するのか、とか気になる。市としてはどう考えているのか。

(市長)災害が発生したときには、まず逃げるのが大切。そのための心構えを常日頃からしておいてほしい。大災害が発生した場合、役所が全市民を完全に守ることは難しい。今城地区など、地域でどう避難するか、を考え、実際に訓練を実施するなど取組を行っている。今後も地域単位での取組を広げて行きたいと考えている。地域の皆さんが考えて、行政がそれに応じてお手伝いをする形がうまくいきやすい。ご協力をお願いしたい。

また、先般の台風では排水がうまくいかず、農産物に被害が出たと聞いている。全体の排水対策を検討する必要がある。

・粟利郷が最も低く、ポンプを設置して排水できないか。

(市長)市単独で排水ポンプの設置は難しい。塩田跡地活用とあわせて、補助をとって進めたい。そのためにもしっかりと将来像を描く必要がある。

・現在の牛窓グラウンドの地下には放射性物質が埋まっていると聞いている。他の場所に整備できないか。

(市長)震災以降、市としても放射線測定器を持つことも検討している。埋めた事業者が測定し、問題は無いと聞いているが、グラウンドで測定しているのかは不明。

塩田跡地の他の場所に、ということになると土地改良が難しい。また財源の問題もある。

・B&Gの野球場のナイター使用料が高い。もっと安くないか。

(市長)電気代くらいは払ってもらいたい、という思いで料金設定をしている。コストを下げる工夫を考えてみたい。

・水道代が高い。

(市長)浄水場のコストが高い。また今水道代を安易に下げると、水道管の更新の際にお金が無い、という状態に陥るため、慎重に検討する。

一番いいのは井戸を掘って浄水場を使わないことだが、苫田ダムの水をも

っと買えと言われているので、井戸を掘ることも難しい。

- ・新病院の位置では台風災害などで浸水する可能性があるのでは。また周囲が浸かれば救急車が入れなくなる。

(市長) 浸水時の対応を考える。

- ・自治会への補助金が少ない。茶代に使えないのは使い勝手が悪い。事業費の2分の1しか出ないので残りの2分の1を用意するのも苦労する。全額補助して欲しい。

(市長) 個人的には茶代もよいのでは、と思うが、大きな自治体になるという
ような意見が出てくる。この補助制度は来年度で3年目になる。使いやすく、
地域を盛り上げるための補助金のあり方を考えたい。

地域資源と活性化について、意見交換

- ・白十字のおかしに牛窓の南瓜を使っていると聞いた。

- ・粟利郷の太刀踊も資源か。

- ・農産物の高付加価値化のため、加工に関する補助金は何かないか。長浜干拓では瓜類がよくできるが、加工が難しい。

(市長) TPPの絡みで国が出してくる可能性がある。うまく活用できるようにしたい。

- ・人や歴史も資源と考えれば、それらを活かした観光なども考えられる。

(市長) 新たな観光開発として、バブル期には大規模な観光地の開発があったが、今は観光のあり方が変わってきている。今、そこにある資源を活かした観光が求められていると考える。先日行われた牛窓秋まつりも立派な資源である。11月12日にRSKで放送される。よいPR機会となる。あるものをしっかり磨いて発信することをやっていきたい。